〈澪月〉 Antiaircraft Destroyer Kouduki-MIOTSUKI-Mio,IJN

Ｔａｃｔｉｃｓ「ＯＮＥ～輝く季節へ～」上月 澪

傑作艦との呼び声も高い、〈相沢《秋月》祐一〉級駆逐艦第１シリーズの１２隻に属する。１９４２年６月４日に竣工した。基準排水量２７００トン。 〈澪月〉は「言語に不自由な」艦として知られている。無線装置が受信できるものの、どういうわけか発信が殆どできなかったのである。幾多の改良、治療が試みられたが最後まで直ることはなかった。しかし乗組員達はそんな境遇にもめげず、発光信号「うんうん」や手旗信号「なの」によって他艦とのコミュニケーションを図っている。無線機の不調に悩んでいた初代艦長Ｋ月少佐に、海軍畸人伝の筆頭に挙げられる〈折原《吉野》浩平〉艦長Ｋ大佐が無線に頼らずともいくらでも「思いをつたえられる」方法があることを諭したからである。 悩みを吹っ切ったＫ月艦長以下の〈澪月〉は、以後日本海軍が達するあらゆる海域にて子犬のように走り回り、何にでも一所懸命に任務に精励する。帝国海軍においてくせ者揃いで知られる駆逐艦部隊であったが、とりわけ一癖も二癖もある艦長達が揃っていることで知られる〈相沢《秋月》祐一〉級の中で、〈澪月〉は素直で愛らしい性格で有名だった。それだけに「部長」こと、戦隊司令の信頼は高かったのである。 ４２年夏の北太平洋攻防戦では、夜の霧に位置を見失い、島陰で朝になるのを待っていたことがある。敵地のただ中ということもあり、消化器（原文ママ、消火器の誤記）が倒れる音に飛び上がるほどの緊張を乗組員たちは強いられていたのだった。 機動部隊再建にともない、装甲空母〈里村《海鳳》茜〉の護衛として〈柚月〉と共に奮戦することになった。彼女との付き合いは、１９５１年1月２６日の第2次クレタ沖海戦で〈里村《海鳳》茜〉が大破してアレクサンドリア港に着底するまでの長いものとなった。 第３次世界大戦後は英国海軍へ売却され、〈アクトレス〉との名で大舞台というべきロイヤル・ネイヴィーの一翼を担っている。

■要目（新造時）

・全長　 １３４．２メートル
・全幅　 １１．６メートル
・主機 艦本式ギヤード・タービン２軸
・主缶 ロ号艦本缶３基
・機関出力　５２０００ｈｐ
・最大速力　３３ノット
・航続距離　８０００海里／１８ノット
・基準排水量 ２７００トン

■兵装

・主砲 ６５口径１０センチ砲連装４基８門
・機銃 ２５ミリ連装機銃３基６丁
・魚雷 ６１センチ４連装発射管１基

■兵装（１９４６年以後）

・主砲 ６０口径１２．７センチ砲単装４基４門（自動砲）
・機銃
　・ボフォース４０ミリ連装機銃７基
　・エリコン２０ミリ連装機銃４基
　・エリコン２０ミリ単装機銃９基
・噴進砲 １２センチ２８連装砲２基
・爆雷

・七式散布爆雷投射機１基
・五式音響爆雷４２発

■同級艦

・第１シリーズ
・〈相沢《秋月》祐一〉　〈照月〉　〈涼月〉　〈初月〉　〈新月〉　〈澪月〉
・〈夕月〉〈大月〉　〈霜月〉　〈宵月〉　〈花月〉　〈柚月〉

・〈美月〉級　３０００トン（〈島風〉級の機関を移植、３７ノット超を出す高速艦）
・〈美月〉